



JA広島総合病院
広報誌 Vol.13

■春号

●発行所

JA広島総合病院

〒738-8503

広島県廿日市市地御前1丁目3-3

TEL0829-36-3111(代) FAX0829-36-5573

http://www.hirobyo.jp



撮影・正島忠貴



J A 広島総合病院
病院長 角 重信

「初診時特定療養費」について

従来、保険診療と自費診療との混在は混合診療として全く認められていませんでした。近年の医療の進歩はすさまじく、高度な先進医療が次々と開発されています。これらの、まだ保険適用が認められていない新しい医療を受けた場合は、新しい医療を受けた診療は勿論、保険適用が認められている診療までが自費診療となりました。あまりに過重なこの負担を軽減する目的で、昭和59年(1984年)、健康保険法が改正され、自費診療の一部を保険で給付する『特定療養費制度』が導入されました。これは、従来の保険適用が認められている診療部分の保険給付は、高度先進医療を受けた場合でも可能となるようにしたものでした。

その後「特定療養費制度」は拡大され、現在以下の様な診療行為が、この制度に認められています。

1. 選定療養

◇特別療養環境室(差額ベッド)への入院

◇紹介が必要な200床以上の病院での紹介状のない初診(緊急やむを得ない場合等を除く)―初診時特定療養費―

◇入院治療の必要性が低い180日を超える入院

◇薬事法規定による治験(医薬品対象に限る)に係る診療 など

2. 高度先進医療

保険適用とされていない高度先進医療を、大学病院などの「特定承認保険医療機関」で受けたときに限り、技術料以外の医療費(診察料・薬剤料・入

院料など)を「特定療養費」として給付(医療機関へ支払い)し、保険の枠からはずれた分の差額は患者さんが自己負担することになります。

前記「選定療養」の2項目目『初診時特定療養費』は、平成8年4月1日の健康保険法の改正で厚生労働省が定めたものです。これは、地域の医院・クリニックと病床数200床以上の病院との役割分担と連携を進めるために、200床以上の病院での初診に対して、他の医療機関からの紹介状がない場合には、初診の特定療養費として患者の自己負担を求めるものです。

地域の医院・クリニックは、住民の方が気軽に受診できて、身近によく起こる病気の治療や健康管理を行う「かかりつけ医」としての役割を担います。一方、当院は、かかりつけ医などから紹介を受けて、より専門的な医療・検査・入院治療を行う役割を担います。

当院はこのような役割分担を推進することで、良質な医療を効率的に提供することを目的として、平成13年8月1日より、初診時特定療養費として1,575円頂いていました。昨年の平成16年8月に『地域医療支援病院』の承認を受け、より地域医療における役割分担の強化が求められるのに従い、平成17年4月1日より2,625円に変更させていただきました。皆様には、地域医療連携における当院の役割をご理解いただき、ご了承の程よろしくお願いたします。

診療科紹介

麻酔科・集中治療科



主任部長
中尾 正和



主任部長
(集中治療室)
吉田 研一



主任部長代理
松本 千香子



部長
白石 成二



部長
東 俊晴



医師
松原 由紀



写真A 術中風景 心臓血管外科術中食道エコー

麻酔科はS62年に2名の麻酔科医で開設され、H17年4月現在は6名(H17年度中に7名に増員予定)です。うち吉田はH11年8月に開設された集中治療部門を専任担当しています。

一般の方々には麻酔科という診療科はなじみが少ないかもしれませんが、50年くらい前に外科から分化しました。麻酔は医師であれば誰が担当しても医師法上は問題ありません。しかし、安全な麻酔管理を行うためには専門のトレーニングと特殊技術が必要とされ、指導病院／専門医制度が最初に確立された診療科は麻酔科でした。とくに、昨今の高齢化社会や生活習慣病の増加に伴い危険因子をお持ちの患者様が増え、麻酔科専門医の必要性が一層高まっています。

麻酔科の特徴は、当院が麻酔科学会認定指導病院であるだけでなく、スタッフ全員が、麻酔科学会認定の専門医(ないし指導医)であることです。麻酔科専門医が、赤ちゃんから高齢の方まで、マンツーマンで麻酔管理をさせていただいています。麻酔科管理症例数は増加傾向で2004年は2750名あまりでした。術後の痛みが大きい手術では、精密持続硬膜外麻酔やPCA(患者様自らが痛みに応じてボタンを押して鎮痛薬を追加投与できる参加型治療法)も利用しています。重症患者様には集中治療室(ICU)での継続的な治療を行なっています。

術中の麻酔管理は単に技術だけでなく、ハードウェアの整備にも努力しています。九つ全ての手術室において麻



写真B 高次脳波モニターBIS

酔中の高次脳波モニターが可能です(写真B)。(当院クラスの病院で全室において脳波モニタリングができるのはまだ全国でも数施設で、西日本では当院のみです!) 麻酔中のバイタルサインの自動取り込みなどのIT技術も導入しています。(写真C)



写真C モニター機器も統合した麻酔器

麻酔科外来では麻酔をうける患者様の手術前診察や説明以外に、麻酔科医の術中全身管理の技術を広げ、ペインクリニック(疼痛外来)や救急麻酔科として休日夜間の救急外来患者様のフォローをおこなう総合診療部門としての役割や集中治療室(ICU)での高度治療も行っています。

詳しくは病院ホームページ

<http://www.hiroboyo.jp/>

お問い合わせ

検査室だより

血液検査

動脈硬化の検査

「生活習慣病」この恐ろしさを本
当に理解している人はまだ少ないと
思われます。皆さんよくご存じの高
血圧、高脂血症、糖尿病、痛風、肥
満など悪しき生活習慣の繰り返しに
よって起こる病気の総称が「生活習
慣病」と呼ばれるものですが、この
「生活習慣病」とこれらを誘因する

「例えば食生活の欧米化、高齢化、
ストレス、運動不足、喫煙などが私
たちの血管を蝕んでいるのです。こ
れが「動脈硬化」といわれるもので
す。「動脈硬化」は大別すると『血
管壁が固くなるもの』と『血管が詰
まるもの』とがあります。「動脈硬
化」だからといって痛みを伴うこと
はありませんが、この状態を放置す
ると脳梗塞、脳卒中、狭心症、心筋
梗塞等といった命に関わる疾患を発
生させる原因となります。現在日
本の死亡原因1位は悪性新生物(が
ん)ですが、この動脈硬化が関連す
る心疾患、脳疾患を合わせるとがん
に並びます。つまり、動脈硬化はが
んと並ぶほど重要な病気なのです。
この動脈硬化を簡単に、素早く正
確に測定する方法として当院ではC
A V I : 心臓足首血管指数とA B I

：足関節上腕血圧比という指標を用
いています。C A V Iは動脈の硬さ
を、A B Iは動脈の詰まりを推定出
来る指標です。

従来の動脈硬化測定法で用いられ
ていた指標は、血圧の値がその計測
値に大きく影響を与えていましたが、
C A V Iでは大動脈原法に基づいた
指標であるため血圧の影響を受けに
くく、高い正確性を持っています。

C A V Iの臨床的意義：

1. 動脈硬化のスクリーニングと
しての指標

2. 高血圧、高脂血症、糖尿病、
脳梗塞などのマーカー

3. 血管老化の指標

A B Iの臨床的意義：

1. 閉塞性動脈硬化症の鑑別診断

2. 閉塞性血栓血管炎の診断

この検査では患者さんの両手・両
足に血圧測定用のカフを巻き、更に
両手に心電図用電極をつけ、心臓の
音を記録するためマイクを胸に装着
します。手足の血圧を測定するとき
に若干の締め付け感がありますが、
痛みなどはなく、測定時間も約4分
くらいで仰向け
に寝ていただく
だけの簡単な検
査です。ご希望
の方は主治医に
ご相談下さい。



栄養科紹介

栄養科は、管

理栄養士7名と

委託調理部門(株

日米クックと共に、

大きくは次の2つの

業務をおこなっています。



1 入院患者さんの 食事の管理と調理

入院患者さんの食事についてですが、
みなさんは食事が病院のどこで作られ
管理されているか、ご存じですか？実
は、栄養科事務所と厨房は地下1階に
あり目立ちませんが、早朝から夜遅く
まで365日フル稼働しています。食
事は患者さんの状態に合わせて、きざ
み食やペースト食などの食形態に応じ
たり、特別な制限やアレルギーのある
方には個別に対応しています。また、
糖尿病食など種類もたくさんあり1回
に400食以上を越えますが、できる
だけ各個人の嗜好に合わせたものが提
供できるように努めています。さらに、
週1回食事を選んでいただける選択メ
ニューや、クリスマスなどカードを添
えた行事食を実施したり、少しでも食
事を楽しんでいただけるように努めて
います。

2 外来や入院患者さんの 栄養教育

栄養教育は、中棟2階にある栄養相
談室、糖尿病教室で行っています。必
要な方には医師が栄養科まで依頼をし
ていますが、食事の仕方や食べ物につ
いてどうすればいいの？という疑問や
話が聞いてみたい、などの希望がある
方も受付けていますので主治医にお申
し出下さい。また、調理実習を含めた
腎臓病教室や減塩教室も実施していま
すので、興味のある方(ご家族の参加
も可)は栄養相談室までお気軽に声を
おかけ下さい。

「食は健康の礎なり」

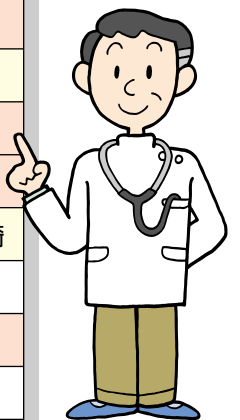


平成17.5.1現在

各科外来診察予定表

診療科		曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第一内科 (呼吸器)	初診	初診	高橋	大庭(初再診)		村井	
		再診			高橋・村井	高橋	村井・大庭
		午後診療 1:30~3:30	喘息外来 広大医師				
第一内科 (循環器)	初診 8:30~11:00	初診	前田	藤井	國田	友弘	小林
		再診	藤井・友弘	前田・友弘	小林	前田・小林	藤井・國田
		午後診療 1:00~3:30			関口	関口	関口
第二内科 (腎臓)	再診 8:30~11:30 (予約再診を除く)	初診		串畑 倉恒(初再診)	倉恒		平林
		再診	平林・倉恒		平林	串畑	
		午後診療 1:30~3:30		CAPD外来 平林・串畑・倉恒			
第二内科 (糖尿代謝)	初診	初診	石田(和)		木戸	河面	
		再診	河面・木戸	石田(和)・河面 木戸	石田(和)・河面	石田(和)・木戸	石田(和)・河面 木戸
		午後診療 1:30~3:30		河面		石田(和)	
第三内科 (消化器)	初診	初診	小松・浅本	石田(邦)	徳毛	大原	品川
		再診	徳毛	小松・大原	石田(邦)・品川	小松	石田(邦)・浅本
小児科	8:30~11:00	初再診	中島・下藺	中島・河村	河村・下藺	中島・下藺	中島・河村
	午後診療 2:00~3:00	慢性疾患 腎・肝炎・喘息等	予防接種 心臓・乳児検診 (1才半から第2・第4火曜)		慢性疾患 腎・肝炎・喘息等	乳児検診 (要予約)	
外科	8:30~11:00	初再診	中光・永田 加藤(1.3.5週) 長谷(2.4週)	角・今村 湯浅	中光・長谷 香山	永田・加藤 湯浅	角・今村 香山
心臓血管外科	8:30~11:00 (火・木・金初再診)	初診		川上		清水	中尾
		再診		川上・中尾		清水	中尾・望月
整形外科 初診10時迄	8:30~10:00	初診	藤本・重光	大田	金沢・重光	奥田	金沢・大田
	8:30~11:00	再診	金沢・大田	重光	藤本・大田 奥田	金沢・重光	奥田
形成外科	8:30~11:00	初再診	茂木		茂木		茂木
脳神経外科	8:30~11:00	初再診	田口	木下	黒木	湯川	湯川
	8:30~11:30	再診	湯川	黒木	田口	田口	黒木
呼吸器外科	8:30~11:30 (木曜は手術の為休診)	初再診	渡	渡	渡	手術日	片山
産婦人科	8:30~11:00	初診	藤本	内藤	澤崎	内藤	山本
		再診	内藤・澤崎	山本・澤崎	内藤・藤本	藤本・山本	藤本・澤崎
	午後診療 2:00~3:00		予約診療		予約診療		
皮膚科	8:30~11:00	初再診	森川・田中 柳瀬	森川・田中 柳瀬	森川・田中 柳瀬	森川・田中 柳瀬	森川・田中 柳瀬
	午後診療 3:30~4:00					特殊外来	

よく確かめて
おいで下さい

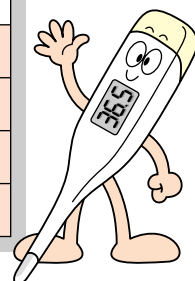


初診 再診 午後診療

※整形外科の初診受付は午前10時までとなりますのでご注意ください。

※各担当医師については、急な手術、出張等により代診・休診とさせていただく場合がありますのでご了承ください。

診療科		曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
泌尿器科	8:30~11:00	初診	廣本・稗田	小深田	望月	廣本	小深田・稗田
		再診	望月	廣本・望月	廣本・小深田	稗田・小深田	望月
眼科	8:30~11:00	初再診	二井・胡田	二井・胡田	二井・胡田	二井・胡田	二井・胡田
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	初診	平田	水野	平田	水野	水野
	8:30~11:30	再診	水野	平田	水野	平田	平田
		午後診療	月曜 アレルギー(3:30~4:00)		第2・4月曜 補聴器(1:00~4:00予約制)		(医師は交替制)
歯科	8:30~11:00 (再診は11:30まで)	初再診	今田	今田	今田	今田	今田
口腔外科	8:30~11:00 (再診は11:30まで)	初再診	原田・武田	原田・武田	原田・武田	原田・武田	原田・武田
		午後	手術日	外来手術日	手術日	外来手術日	一般外来
精神科・心療内科	完全予約制	初診	世木田	世木田	世木田	世木田	世木田
	8:30~10:30 (予約制)	再診		世木田	世木田	世木田	
麻酔科	8:30~11:00 (再診は11:30まで)	初再診	松本	中尾	東	松本	中尾
		術前診察	白石	松原	白石	松原	東
画像診断部	8:30~11:00	初再診	藤川・海地	藤川・秦・松浦	藤川・松浦	藤川・鈴木	藤川・秦
放射線治療科	8:30~11:00	初再診	桐生・伊東	桐生・伊東	桐生・伊東	桐生・伊東	桐生・伊東



JA広島総合病院基本理念

1. 安心な病院 私たちは、すべての人に信頼される医療の実現に努めます
2. 親切な病院 私たちは、和と思いやりの心を大切にします
3. 身近な病院 私たちは、地域に密着した医療と健康的な生活の提供に努めます
4. 立派な病院 私たちは、最新の知識と技術を習得し良質な医療の提供に努めます

患者さんの権利

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性について説明を受け、十分な納得と同意のうえで適切な医療を受けることができます。
3. あなたは、今受けている医療の内容についてご自分の希望を申し出ることができます。
4. あなたの医療上の個人情報保護されます。
5. あなたに研究途上にある治療をおすすめる場合には、治療の内容や従来の治療方法との違いなどについて、前もって十分な説明をします。

新任Drの紹介



第一内科
村井 博

昭和63年広島大学卒業後、2年間の内科ローテーションを経て呼吸器疾患の診療に取り組んでおります。8年間、前任の吉島病院で学んだ事が生かせればと思っております。どうぞ宜しくお願いします。



第一内科
大庭 三沙

この度、4月より呼吸器内科で働かせて頂くこととなりました。研修医を終えたばかりで分からない事も多く御迷惑をお掛けするとは思いますが、これからよろしく願います。早く病院に慣れ楽しく働けたらいいなと思っています。



第二内科
倉恒 正利

平成8年広島大学卒の倉恒『くらつね』です。先の4年間は大学で研究に明け暮れておりましたが、4月から腎臓内科医として当院に勤務させていただきますこととなりました。明るいことと元気なことが取り柄です。のびのびと過ごします。



外科
香山 茂平

4月より外科に勤務させて頂いていただくことになりました。3月までは大学で大腸肛門、炎症性腸疾患の外科の臨床に従事しておりました。1日も早く皆様の信頼を得られる様に頑張りたいと存じます。宜しくお願致します。



整形外科
重光 陽一郎

平成6年6月より海上自衛隊の青森(恐山の麓)・横須賀・江田島の病院、潜水医学実験隊・掃海隊群・砕氷鑑しらせにて潜水医学兼整形外科として勤務し、出戻ってきたモグリの医者です。ボランティアで潜水の指導をしています。皆様宜しくお願致します。



整形外科
奥田 晃章

この度、整形外科に勤務させて頂くことになりました。大病院勤務時は脊椎脊髓班に属し、研究・臨床をしておりました。廿日市市の地域医療に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願致します。



脳神経外科
木下 康之

平成11年広島大学卒業後、県立広島病院、国立病院呉医療センター、北九州総合病院にて研修させて頂き、平成17年4月より広島総合病院に勤務させて頂いております。廿日市市の地域医療に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願致します。



泌尿器科
望月 英樹

植木先生と交代で泌尿器科に勤務させて頂くこととなりました。医師10年目、33歳。家族は、妻(広島大学麻酔科)、長女(3歳)、長男(1歳)の4人です。想定の範囲外の大抜擢ですが、頑張りますので宜しくお願申し上げます。



産婦人科
山本 雅子

この度、産婦人科で勤務させて頂くことになりました。温かいスタッフに囲まれ、恵まれた環境で働けることに感謝しております。勉強させて頂くことばかりですが、1日も早く還元できるよう頑張つて参りますので宜しくお願致します。



臨床研修医
数野 祥郎

4月より広島総合病院で研修することになりました。『かずの』です。これから多くの事を吸収し、自分のものにしていきたいと思っております。宜しくお願致します。



臨床研修医
高木 康充

今春より研修医として皆様と一緒に働かせて頂く事になりました。小学3年生から高校3年生まで廿日市に住んでいましたので、この町で医療に携わる事ができるのを幸せに思っています。頑張りますのでよろしくお願致します。



臨床研修医
弓削 亮

この度、4月より広島総合病院に研修医として勤務させて頂くことになりました。出身大学は鳥取大学です。本当に何も分かりませんが、チーム医療の一員として少しでも貢献できるように頑張りたいと思いますので宜しくお願致します。



臨床研修医
吉見 聡

この度、4月1日より広島総合病院に研修医として勤務させて頂く事になりました。右も左もわからない新米かもしれませんが、全力を尽くして医療に携わっていくつもりなのでどうか暖かい目で見守つて下さい。



臨床研修医
志和 麻実

平成17年愛媛大学を卒業し、6年ぶりに故郷広島に戻つて、広島総合病院で研修させて頂いたことになりました。いろいろとご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、初心を忘れず頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします。



新任Drの紹介

医療機関を上手にご利用いただくために

現在、身近な地域で安心して、安全な医療を受けられるということが最も大切であり、住民の方が望まれていることだと思います。

しかしながら、医療の高度化と高齢化にともない、ひとつの病院や診療所のみで、患者さんの診断から治療、療養までのすべてを行うということは大変難しくなっています。

そこで、当院では地域の医療機関と連携をとり、それぞれの役割に応じた質の高い医療の提供を行うことを目標とし、実践していきたいと考えております。

地域の医療機関は、住民の方が気軽に受診できて、身近によく起こる病気の治療や健康管理を行う「かかりつけ医」としての役割を担います。一方、当院はより専門的な検査や入院治療を行う役割を担うことを目指します。

こつした連携を結ぶのが、かかりつけ医が書かれる『紹介状』です。

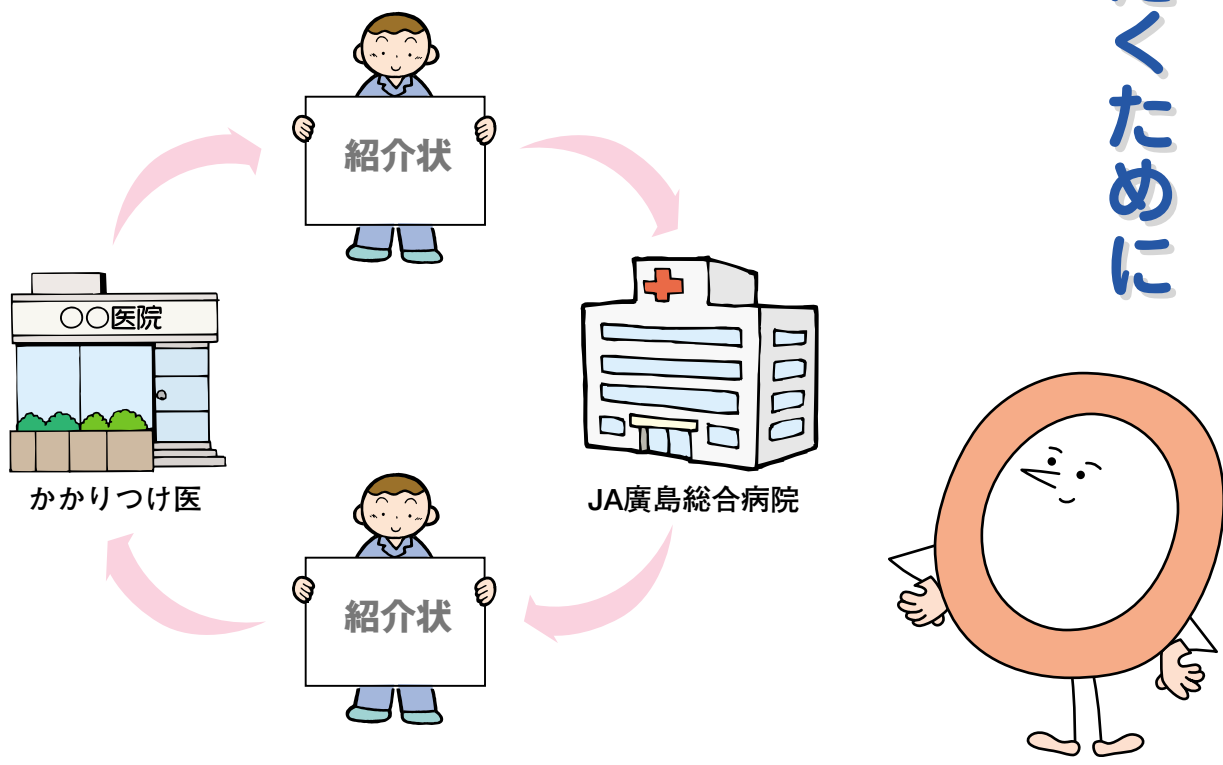
これによって、いままでの治療経過を生かした検査や治療がよりスムーズに行われることとなります。

また、医師をはじめとする医療関係者は様々な情報交換や勉強会を行い、患者さんが安心して地域で療養されるための地域医療機関ネットワークを確立していきたいと考えております。

このようにかかりつけ医と連携をとり支援する病院として、当院は昨年8月に地域医療支援病院の承認を受けました。

現在、当院で定期的に治療されている方で、お近くの医療機関での治療を希望される方は、遠慮なく担当医師、看護師または各科外来受付にお申し出ください。

かかりつけ医として、お近くの医療機関をご紹介します。



理学療法ってなんだろう？

今回よりリハビリコーナーが始まります。その前に、皆さんは「理学療法」という言葉を知っていますか？「リハビリ」という言葉は知っていても「理学療法」という言葉を聞いたことがない人もいるのではないのでしょうか。

理学療法とは、病気・ケガ・寝たきりなどによって身体が不自由になった人々に対し、身体と心の両面から機能回復・維持をはかる医療の一つです。実際には各個人の状態を調べて全体像をつかみ、適切な治療方法・目標を設定後、治療を進めていく医療です。こうした理学療法は専門の理学療法士によって、病院を中心に地域や介護する家族への指導、最近では予防医学に対しての助言など幅広い範囲で行なわれています。



※次回は一度痛めるとなかなか厄介なのが腰ということで、日頃の生活動作のポイントや介護のアドバイスを紹介します。
ご意見等ございましたらリハビリスタッフにご相談下さい。

